# 広島交響楽団

東京オペラシティ公演

# 2025「平和の夕べ」コンサート

# Hiroshima Symphony Orchestra

AN EVENING OF PEACE CONCERT 2025 IN TOKYO OPERA CITY

## ―― 被爆80周年 "Music for Peace"

ダニール・トリフォノフとともに

©Shumpei Ohsugi

©Dario Acosta/DG

指揮：クリスティアン・アルミンク
Christian Arming, *Conductor*

ピアノ：ダニール・トリフォノフ
Daniil Trifonov, *Piano*

ソプラノ：石橋栄実 *
Emi Ishibashi, *Soprano*

コンサートマスター：北田千尋
Chihiro Kitada, *Concertmaster*

**ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op. 18**
Rachmaninoff: Piano Concerto No. 2 in C minor op. 18

**マーラー：交響曲第4番 ト長調 ***
Mahler: Symphony No. 4 in G major

＊当初予定のプログラムから、出演者、曲目の一部が変更になりました。

2025年
## 8/8（金）19時（18:00開場）
## 東京オペラシティ コンサートホール

Friday, August 8, 2025 7 p.m. [Door open 6 p.m.]
Tokyo Opera City Concert Hall

料金　S¥14,000　A¥12,000　B¥9,000
※小・中・高校生：S・A・Bとも半額（広響事務局と東京オペラシティチケットセンターのみお取り扱い）

主催：公益社団法人広島交響楽協会　マネジメント協力：KAJIMOTO

【明子さんのピアノ展示】
当日ホールロビーに「明子さんのピアノ」（被爆ピアノ）を展示するとともに、開場時には一般応募の方によるピアノ試奏を行います。（応募は締め切りました）
＊昨年アルゲリッチ氏が試奏した様子をYouTubeでご覧いただけます。

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

KAJIMOTO

# 現世の苦悩から、歓喜を経て天上へ

広島交響楽団が被爆80年を祈念して開催する「平和の夕べ」コンサート。

当初はソリストにマリア・ジョアン・ピリスを予定していましたが、軽い脳梗塞を発症、一定の加療と休息が必要との判断で、残念ながら今回の来日が見送られました。

しかし代役として、このコンサートの理念に共鳴して出演を応諾してくれたのが、現在世界でもトップ・ピアニストの一人であり、日本でも大きな人気を誇るダニール・トリフォノフ。そして彼のもっとも得意とするレパートリーのひとつ、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番をもって広響との初共演が実現します。トリフォノフは近年、日本でオーケストラとの協奏曲を弾くことがなかったこともあり、注目の公演です。

ラフマニノフが抱えた苦悩から、マーラーの天上の音楽へと、世界に向けて音楽による平和のメッセージを届けます。

©Shumpei Onsugi

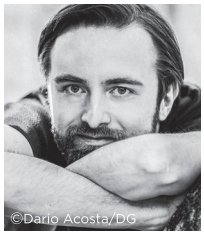
## クリスティアン・アルミンク（指揮）
## Christian Arming, *Conductor*

ウィーン生まれ。ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ルツェルン歌劇場の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に音楽監督に就任した。

これまでチェコ・フィル、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響、ウィーン響、トゥールーズ・キャピトル国立管、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ボストン響、N響などに招かれ、オペラでは欧米の歌劇場や新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。

## 広島交響楽団
## Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace ～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2024年よりアルミンクが音楽監督に、徳永二男がミュージック・アドバイザーに就任。下野竜也が桂冠指揮者を務めるほか、ウィーン・フィルのコンサートマスター、シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立し、70年に「広島交響楽団」へ改称。地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。2023年には創立60周年を迎えた。


©Dario Acosta/DG

## ダニール・トリフォノフ（ピアノ）
## Daniil Trifonov, *Piano*

2010年のショパン・コンクール第3位、翌年のチャイコフスキー・コンクールで優勝して以来、超一流の指揮者や楽団から引く手あまた、現代最高のピアニストの一人となった。アルゲリッチは「彼はすべてを、そしてそれ以上の優しさと悪魔的な一面を手にしている。私はかつて、このような演奏を聴いたことがない」と語る。

ラトル、ムーティ、ネゼ=セガンらの指揮のもと、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、フィラデルフィア管などと共演し、ウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニーなど多くの音楽都市の主要ホールでリサイタルを開いている。

ドイツ・グラモフォンと専属契約を結んでの録音は、数多くの国際的な賞を受賞。

## 石橋栄実（ソプラノ）
## Emi Ishibashi, *Soprano*

大阪音楽大学専攻科修了。ケムニッツ市立劇場《ヘンゼルとグレーテル》のグレーテル役で招かれて以来、新国立劇場公演など数多くのオペラに出演している。また、J.S.バッハ「マタイ受難曲」、メンデルスゾーン「エリア」、モーツァルト「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとして全国のオーケストラと共演。『NHKニューイヤーオペラコンサート』にも出演した。大阪舞台芸術奨励賞、咲くやこの花賞など受賞多数。大阪音楽大学教授。

## 明子さんのピアノ

このピアノは、1926年 アメリカBaldwin社で製造されました。ロサンゼルスで生まれた少女 河本明子さんが愛用していました。1933年（昭和8年）河本源吉・シヅ子さん夫妻と共に広島に移り住みました。1945年（昭和20年）8月6日 原爆投下。学徒動員での作業中に明子さんは被爆し、翌7日夕方19歳の生涯を閉じました。病名は「急性放射能障害」でした。ピアノも爆風により、多くのガラス破片で傷つきました。

2005年（平成17年）8月、調律師 坂井原浩氏によって困難な修復作業によって音色を甦らせました。8月3日 被爆60周年祈念「被爆ピアノ・チャリティーコンサート」が開催されました。

以来「明子さんのピアノ」は、あの日の出来事を現在へ伝える貴重な「被爆遺品」として、平和の調べを奏でています。

（一般社団法人 HOPE プロジェクト ウェブサイトより）

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス　検索

**www.kajimotoeplus.com**
**カジモト・イープラス 050-3185-6728**
※オペレーター対応（10:00～18:00）ホームページからもお申込みいただけます。
**http://hirokyo.or.jp**
**広響事務局 082-532-3080**

チケットぴあ　https://t.pia.jp（Pコード: 293-934）
e+（イープラス）　https://eplus.jp/
ローソンチケット　https://l-tike.com/
東京オペラシティチケットセンター　03-5353-9999（10:00～18:00 月曜定休）
広響webチケット、広響事務局　082-532-3080（9:00～17:20 土日祝休）

カジモト・イープラス

“kajimotomusic” で検索！ YouTube 𝕏（旧Twitter）@kajimoto_News @kajimotomusic

●お車でお越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。
●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。　●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
●ご来場の皆様に安心してお聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

KAJIMOTO　〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階　ticket@kajimotomusic.com　https://www.kajimotomusic.com/